

五十嵐川改修により住宅着工件数が増加

- 平成16年7月の豪雨により、新潟県三条市では7,500戸以上の家屋が浸水
- 引堤や河道掘削等を緊急的に実施し、治水安全度が大幅に向上
- その結果、被災した地域は周辺地区と比較して多くの住宅が建設され、大きな経済効果

平成16年7月豪雨による浸水状況



五十嵐川
破堤状況



三条市街地の浸水状況

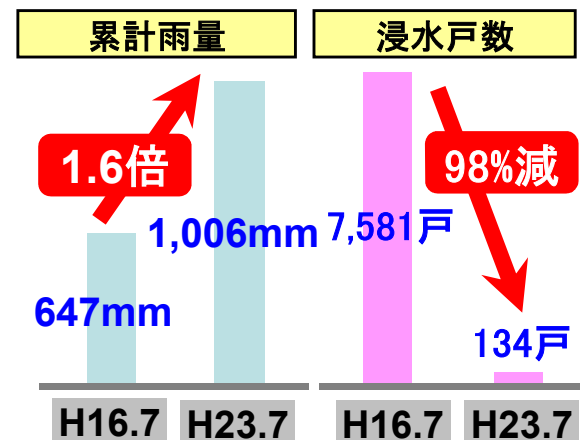


災害対応により、平成23年の豪雨では、平成16年の豪雨と比較して1.6倍の降雨量だったにもかかわらず、**五十嵐川流域の浸水戸数が約98%減**



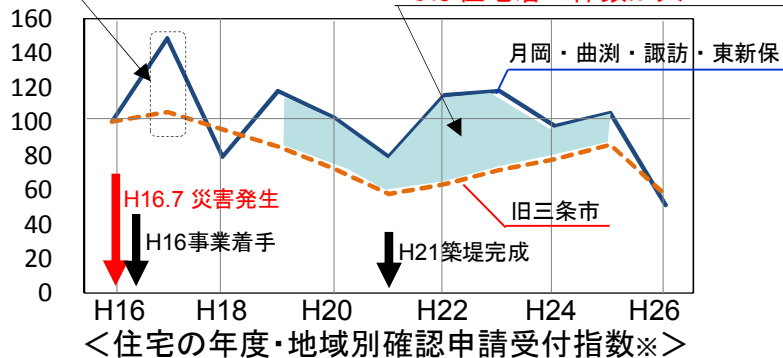
引堤
+
河道掘削

(常盤橋付近)



月岡地区等では住宅工事費が約131億円にのぼるなど地域の発展に寄与

災害復旧により着工件数が大
水害復旧以降も特に月岡地区等
では住宅着工件数が大



<新たに建設された住宅>

※H16年度の旧三条市全域、月岡・曲渕・諏訪・東新保地域の件数を「100」として比較